



池田 謙次  
公明党議員団 (6)

★改選後、初の議会において、沢山の議員が質問に挑戦し、熱き熱戦が展開されました。頼もしい限りです。私も公約として掲げたいとつ「**小中学校の給食の無償化**」を質問。国を含め、予算の関係から、「まずは、第3子のお子さんを対象に」20年度を目指して、検討するとの前向きな答弁がありました。実現を待ちます。

★さらには、高齢化社会の中で、勇払地区のご高齢の方より「高齢のため、お風呂掃除が大変で、**コミセンにあるお風呂を開放**してもらえないか」とのご相談。早速質問し、「7月にアンケートを実施し、ニーズを把握し、秋ごろ遅くとも11月位には、スタートできれば」との嬉しい答弁でした。

★ほかに、満杯に近い、青翔中学校のオーバーフロー時の対応や、防災タワーと防災行政無線の設置・拡大を質問しました。



板谷 良久  
新 緑 (3)

★4月の市議会議員選挙では「**IRが開く、苫小牧の明るい未来**」について訴えてきました。

今回、北海道知事の動向や、**IR整備法の遅れ**などの影響について質問しましたが、IR誘致を進めている大阪・長崎・和歌山と比較すると、遅れている状況が明らかとなり、北海道との早期連携と市民周知の強化を要望しました。また、誘致に向けてしっかりと取り組む市長の考えが示されました。

★高齢者による交通事故が、全国的に多発していることから、運転免許返納を誘因する取り組みとして、**高齢者優待乗車証の自己負担額100円を無料化する**提案をしました。また、バス利用者の25%が高齢者であることから、21年度から実施予定の「地域公共交通網形成計画」における福祉との連携を提案し、市は研究・調査を始めることを明らかにしました。



岩田 薫  
民主クラブ (2)

★6月定例会の一般質問では、①JR北海道単独維持困難路線②市発注工事③市民ホールの整備手法④緑ヶ丘公園の全体計画⑤下水道施設の整備計画などについて、市の考え方を質問しました。

★**JR問題**では、19年度から2力年にわたり、利用促進のため支援をおこなうとして、具体的金額については9月議会に提案するとなりました。

★**市が発注する工事**では、胆振東部地震や、全国的な人手不足などから、発注計画の見直しや、工期の延長など対策を講じていくとしました。

★**市民ホールの整備手法**の決定については、19年中に決定するとの答弁がありました。

★**下水道事業**における経営戦略は、中長期的なバランスの取れた財政運営を目的として、19年中に策定するとなりました。



宇多 春美  
新 緑 (3)

★3期目も、**女性の視点**で市民の皆さんの声に耳を傾け、誰もが幸せに暮らせる「まちづくり」を目指す活動をいたします。

★**男女平等参画を推進する市民会議**は、市長が座長となり、市民・団体、企業、行政が情報交換や相互連携をし、積極的に推進することを目指し、協働のまちづくりを目的としています。市職員に対しては職務の中での認識、市民に対しては丁寧な周知を求めました。

★**認知症対策**は、大人も子どももサポーターとして地域で認知症の方を見守る活動、認知症カフェ、さらに市内東西2カ所では「認知症フレンドリーカレッジ」が開催され定員を超える状況に認知症の理解が深いものと思えます。今後は新オレンジプランで施策強化とされている**若年性認知症**に対しての現状把握と支援に対しても取り組むことを質疑しました。